

年 組 名前：



県産業振興課によると、連携して事業に取り組むのは初めて。
「デザインアカデミー・アイントホーフェン」は、世界有数のデザイン教育機関。実践的なデザイン教育をしており、国際的に活躍するデザイナーを数多く輩出し、世界のデザイン分野に大きな影響力を持っているという。初日の24日は、同校で同校が日本の企業や産地、教育プロジェクトのコー

郡内織物技術力PR オランダのデザイン校講師招きツアー

県は28日まで、オランダの世界的なデザイン教育機関の教職員を招いた、郡内織物産地のスタディーツアーを行っている。織物業者などの訪問を通じて郡内織物の高度な技術力を知ってもらうことで、同校との合同プロジェクトの実施やデザイナーらとの協業、将来的な輸出拡大を目指す。
〈渡辺真紗美〉

県 協業や輸出拡大めざす

デザイナーを務めるデッサ・ジョーン・ブロックランド氏が織物業のデッセン（富士吉田市）を訪ね、小林新司社長からリネン生地について説明を受け、「男女問わない職人による熟練技術が今も地域に根付いていることに驚いた。郡内織物について深く知り、学生とのコラボレーションにつなげたい」と話した。ブロックランド氏は糸の整理加工・染色の業種、国中地域の養蚕農家や和紙製造業者なども訪問した。最終日の28日は午後6時から、富士吉田市のFabCafe Fuji（ファブカフェ フジ）で、やまなし産業支援機構プロジェクトマネジャーでエデルコートリースト代表の家安香さんらと意見交換会をする。参加無料。

デッセンの小林新司社長（右）から説明を受けるデッサ・ジョーン・ブロックランド氏（中央）と家安香さん
＝富士吉田市下吉田7丁目

（2026年8月28日付 山梨日日新聞7面）

問1

山梨県が行った郡内織物産地のスタディーツアーでは、だれを招きましたか。

.....

問2

ブロックランドさんは、富士吉田市の織物業者での説明を受け、どのような感想を話しましたか。

.....

.....

問3

ブロックランドさんは、富士吉田市の織物業者以外に、どこを訪問しましたか。

.....

問4

このようなスタディーツアーを行うことは、山梨県にとって、どのような点が良いと思いますか。

.....

.....